

2 【人物像をとらえよう】

(1) 「メロス」はどんな人物として描かれていますか。メロスの性格や職業、家族構成などがわかる言葉に線を引き、抜き出しまし
よう。なお、抜き出したところは「 や、」 …… 「でくくりましょう。(引用文)

<p>教科書からの引用文</p>	<p>メロスの人物像</p>
<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「羊と遊んで暮らしてきた」「牧人」 ・「メロスには父も母もない…二人暮らしだ。」 ・「メロスには竹馬の友があった」 ・「のんきなメロス」 ・「メロスは単純な男であった」 	<ul style="list-style-type: none"> ・牧人でのんびり暮らしている。 ・家族は妹だけ。妹はまもなく結婚する。 ・シラクスの町に親友であるセリヌンティウスがいる。 ・メロスは楽天的でおおまかな性格である。 ・思ったことをそのまま行動に移す。感情が表に出やすい。

3 【表現から考えてみよう】

(1) 「その王の顔は蒼白で眉間のしわは刻み込まれたように深かった。」とありますが、こつした表現や本文の他の部分から想像して、王はどのような人物として描かれて^{えが}いるでしょうか。自分なりにまとめて書いてみよう。

《例》

- ・親族や家臣までも殺してしまうなど、常に人々を疑い、一時も心が休まらない。
- ・強い王でいることが大切だと考え、気難しく構えている。
- ・権力者としてふるまってはいるが、だれも信じることができず、実はさびしく心が満たされない。 …等

登場人物の人物像をとらえよう。

登場人物はどのような人物として描かれているだろうか。「のんきなメロス」「メロスは、単純な男であった」のように、性格や気持ちを直接表す表現があったり、「蒼白」「眉間のしわ」のような表現から「ディオニスの気持ち」が読み取れたりするよ。

4 【心情をとらえよう】メロスが王に捕まったときのそれぞれの気持ちをせりふで書いてみよう。

(1) メロスがセリヌンティウスを身代わりにして村に帰るといったとき
メロスの気持ち

王に処刑までの日限をもらい、なんとか妹の結婚式を挙げさせてやれそうだ。それが終わったら、身代わりとなって^{いば}くれて^いいるセリヌンティウスのためにも、早く帰ってくるぞ。きつと帰ってくる。そして王に信じる^{こと}の大切さを証明しよう。

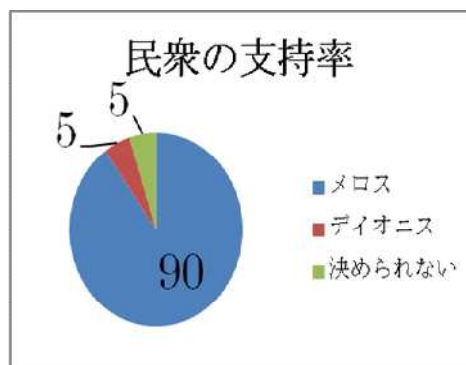
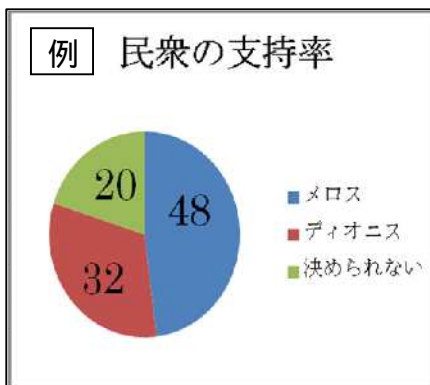
王様の気持ち

メロスは、きつと自分の命がおしくなるにきまっている。口で言うことができ、^{実際}行動にうつすことができないのが人間だ。まして処刑されるためにもどってくる人はいないだろう。人は信じられない^{こと}を、^{民衆}に知らせる良いきっかけになる^{こと}とだろう。



(2) 【自分の考えをまとめよう】

二人の気持ちを聞いていた民衆はメロスと王様、どちらの考えを支持すると思いますか。円グラフを例にならって完成させてみましょう。



メロス	(90) %
ディオニス	(5) %
決められない	(5) %

作品から読み取ったことや、考えたことを自分なりのまとめ、友だちや先生に分かりやすく説明できるようにしよう。

そして、授業では、自分のものの見方や考え方を広げたり、深めたりできるように、友だちとの意見交流の時間を大切にしよう。自分と異なる意見をもった人との交流ほど、新たな発見があるよ！



(3) (2)のグラフの割合にした理由を二二〇〜二六〇字以内で書いてみましょう。

ま	も	口	心		ト	
す	人	ス	し	な	に	わ
。	を	が	て	ぜ	し	た
	信	約	暮	な	ま	し
	じ	束	ら	ら	し	は
	る	を	し	ば	た	、
	こ	守	た	、	。	メ
	と	っ	い	町		ロ
	が	て	と	の		ス
	で	帰	思	人		を
	き	っ	っ	た		支
	る	て	て	ち		持
	よ	き	い	は		す
	う	て	る	以		る
	に	く	か	前		を
	な	れ	ら	の		90
	る	れ	で	よ		パ
	と	ば	す	う		ー
	思	王	。	に		セ
	い	様	メ	安		ン